

国際先端テストについて（案）

1. 趣旨

我が国の潜在力を最大限発揮できるよう、戦略分野を育成するとともに、投資先としての日本の魅力を最高水準に引き上げることを目指し、個別の規制の必要性・合理性について、国際比較に基づいた検証を行う。

2. 検討の視点

戦略分野を育成するとともに、投資先としての日本の魅力を引き上げるため、以下のような視点から検討してはどうか。

- a. 諸外国と比べて一般的な規制かどうか
- b. 諸外国に比べて過重な水準を求めているか
- c. 諸外国との相互性・互換性のある基準・認証となっているか
- d. 諸外国と比べて手続や費用が簡素・適正なものとなっているか
- e. 規制の目的は、より制限的でない別の方法により達成できないか

3. 対象案件の選定

ワーキンググループでの議論等も踏まえつつ、上記の検討の視点に照らして、国際先端テストの対象としてふさわしい（国際比較になじむ）案件を今後選定することでどうか。

(参考)

(抜粋)

第1回産業競争力会議の議論を踏まえた

当面の政策対応について

平成25年1月25日

第3回 日本経済再生本部

本部長 内閣総理大臣 安倍晋三

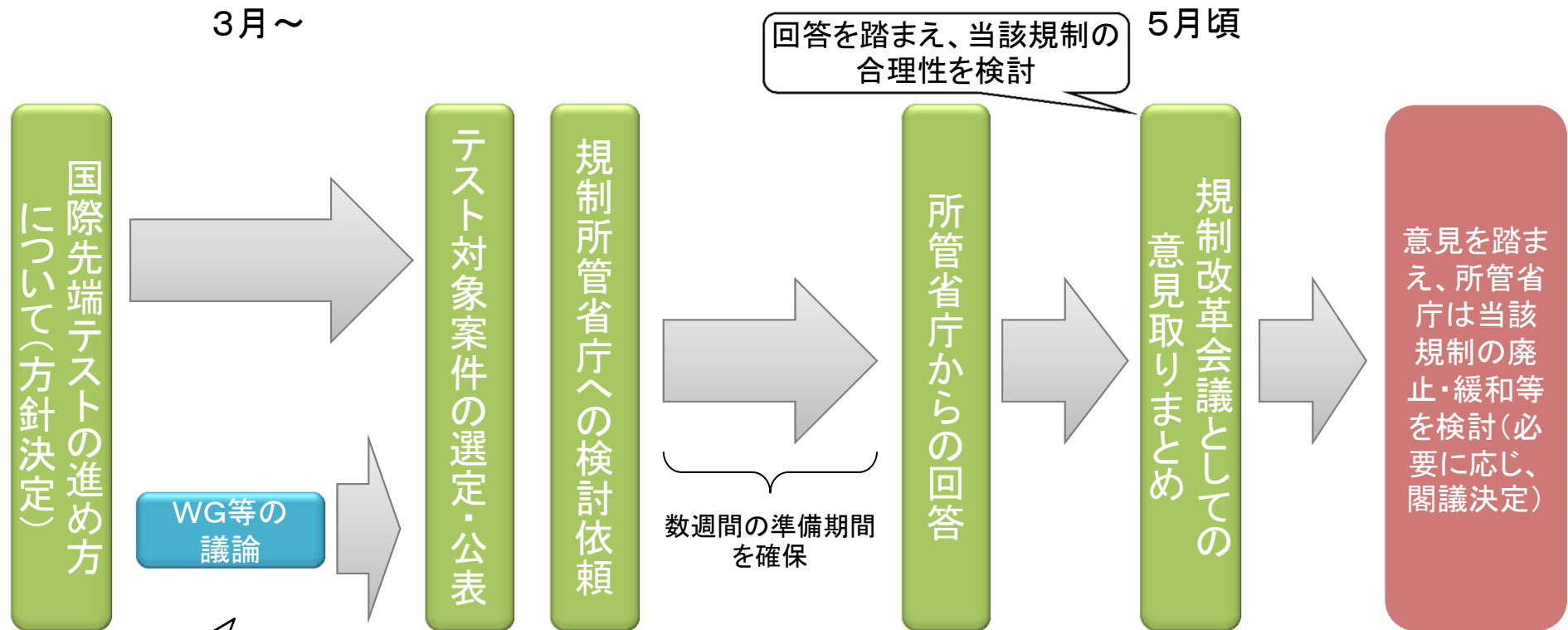
第1回産業競争力会議での議論を踏まえ、関係大臣におかれては、喫緊の重要政策課題に関する当面の対応として、以下の事項について対応されたい。

(規制改革の推進)

内閣府特命担当大臣（規制改革）は、雇用関連、エネルギー・環境関連、健康・医療関連を規制改革の重点分野とする。特に健康・医療については、健康を維持して長生きしたいとの国民のニーズに応えるとともに、世界に我が国の医療関連産業が展開して国富の拡大につながるように、大胆な改革を推進すること。

戦略分野を育成するとともに、投資先としての日本の魅力を最高水準に引き上げる観点から、国際比較をした上での規制改革などを含め、国際先端テストの導入に向けて取り組むこと。

国際先端テストの進め方について(案)



検討の視点に照らして、国際先端テストの対象としてふさわしい(国際比較になじむ)案件を、WG等の議論を踏まえて選定。

- 【検討の視点(案)】
- a. 諸外国と比べて一般的な規制かどうか
 - b. 諸外国に比べて過重な水準を求めているか
 - c. 諸外国との相互性・互換性のある基準・認証となっているか
 - d. 諸外国と比べて手続や費用が簡素・適正なものとなっているか
 - e. 規制の目的は、より制限的でない別の方法により達成できないか